

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～第 8 期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和 2 年 7 月

<習志野市>

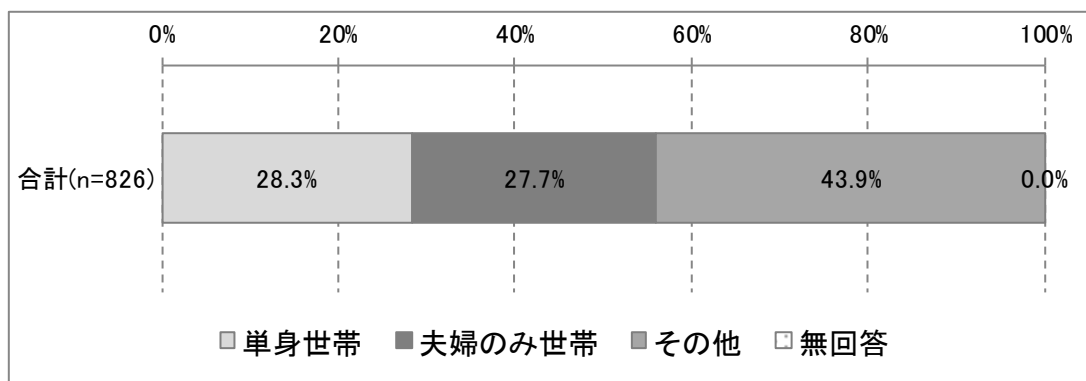
目次

1 基本調査項目	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の本人との関係	[P. 2]
(4) 主な介護者の性別	[P. 2]
(5) 主な介護者の年齢	[P. 3]
(6) 主な介護者が行っている介護	[P. 3]
(7) 介護のための離職の有無	[P. 4]
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況	[P. 4]
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	[P. 5]
(10) 施設等検討の状況	[P. 5]
(11) 本人が抱えている傷病	[P. 6]
(12) 訪問診療の利用の有無	[P. 7]
(13) 介護保険サービスの利用の有無	[P. 7]
(14) 介護保険サービス未利用の理由	[P. 8]
2 主な介護者用の調査項目	[P. 9]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 9]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 9]
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	[P. 10]
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 11]
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 11]
3 要介護認定データ	[P. 12]
(1) 年齢	[P. 12]
(2) 性別	[P. 12]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 13]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 13]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 14]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 14]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 15]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 15]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 16]

1 基本調査項目

(1) 世帯類型

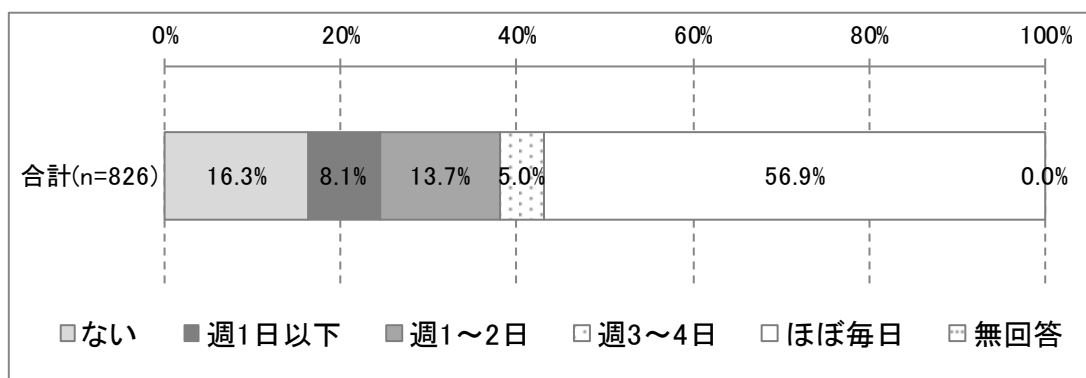
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



「その他」が43.9%で最も多く、次いで「単身世帯」が28.3%などとなっています。

(2) 家族等による介護の頻度

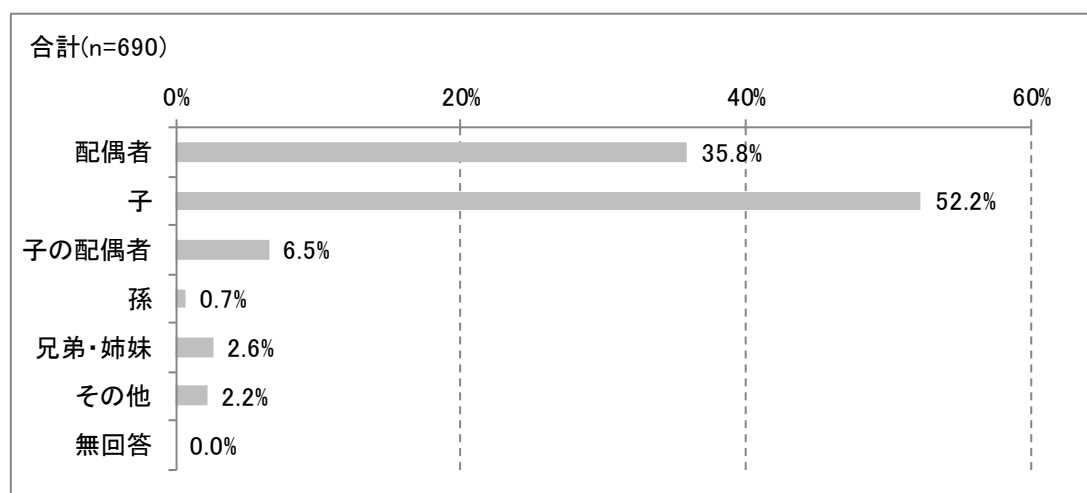
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



「ほぼ毎日」が56.9%で最も多く、次いで「ない」が16.3%、「週1～2日」が13.7%などとなっています。

(3) 主な介護者の本人との関係

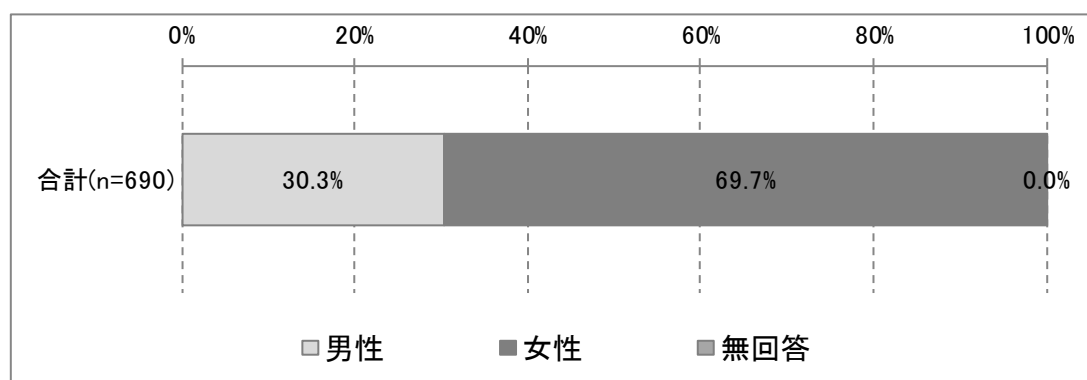
図表 1-3 主な介護者の本人との関係（単数回答）



「子」が52.2%で最も多く、次いで「配偶者」が35.8%、「子の配偶者」が6.5%などとなっています。

(4) 主な介護者の性別

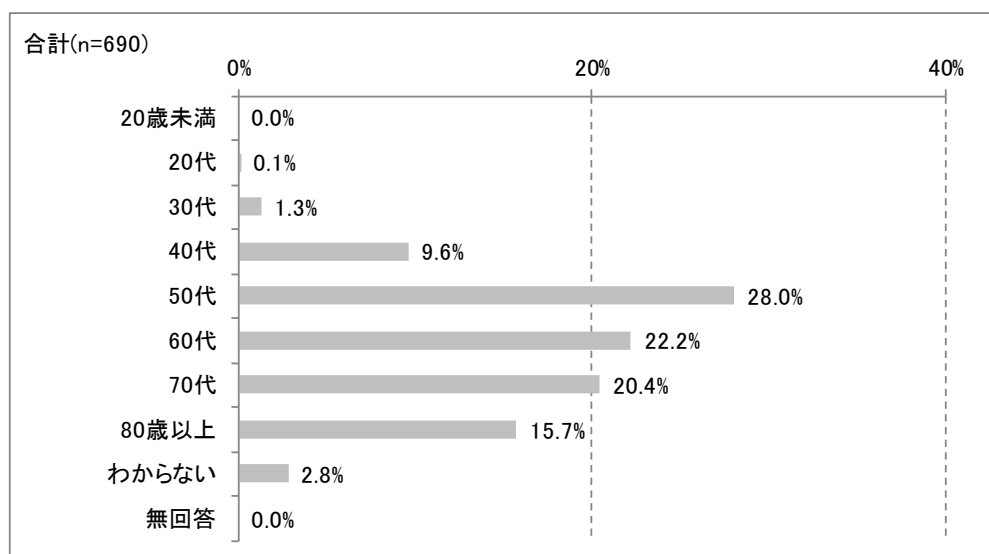
図表 1-4 主な介護者の性別（単数回答）



「女性」が多く69.7%です。

(5) 主な介護者の年齢

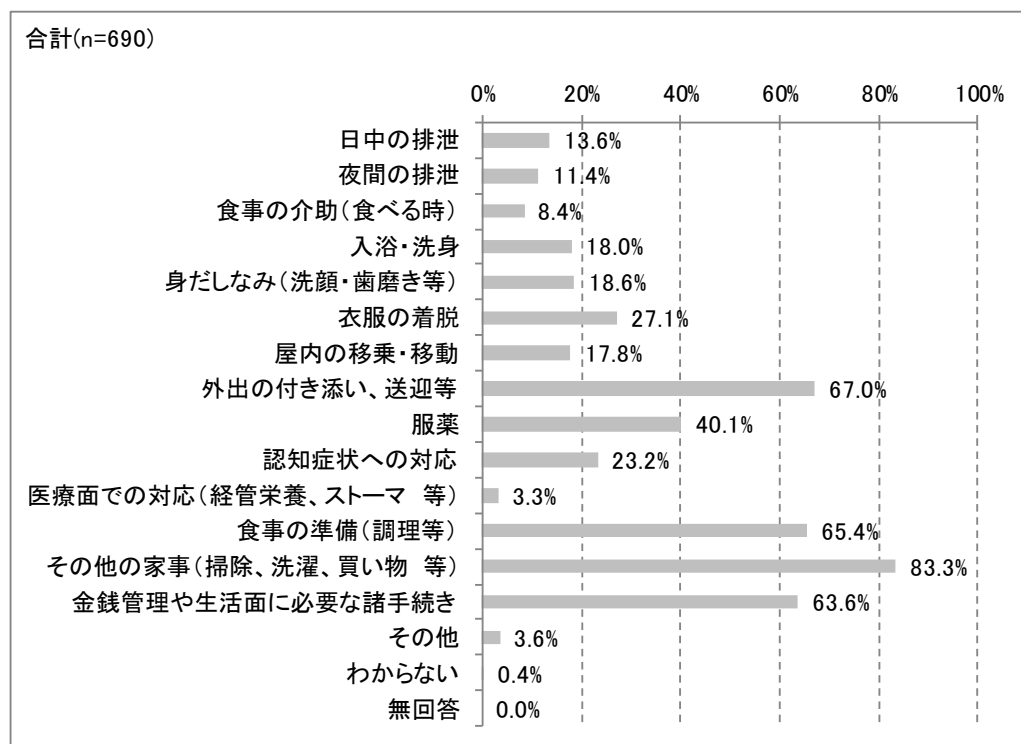
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



「50代」が28.0%で最も多く、次いで「60代」が22.2%、「70代」が20.4%などとなっています。

(6) 主な介護者が行っている介護

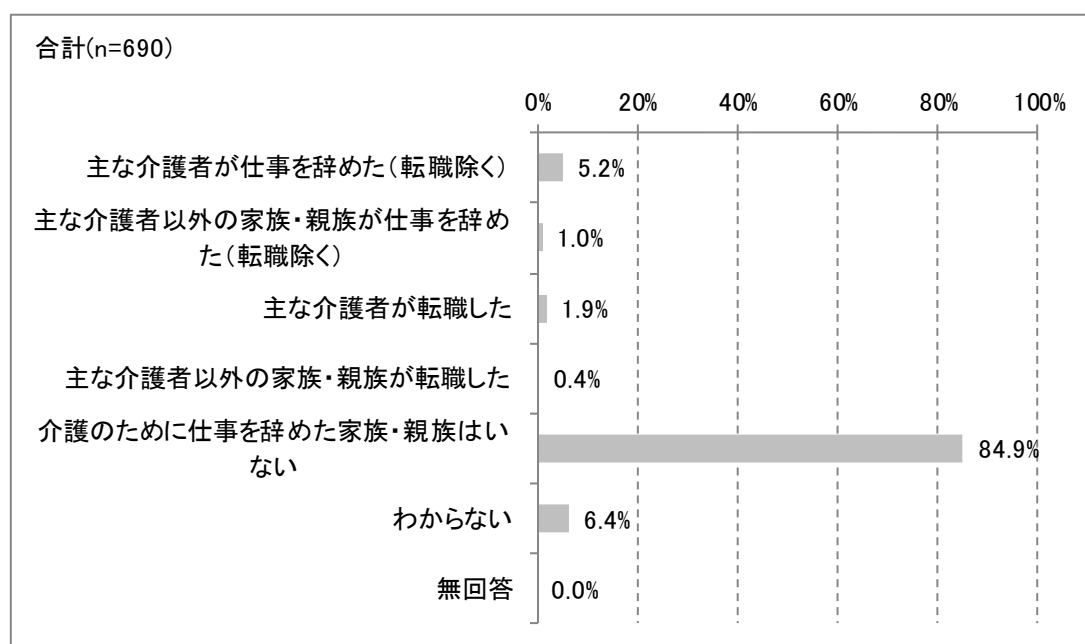
図表 1-6 主な介護者が行っている介護（複数回答）



「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.3%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が67.0%、「食事の準備（調理等）」が65.4%などとなっています。

(7) 介護のための離職の有無

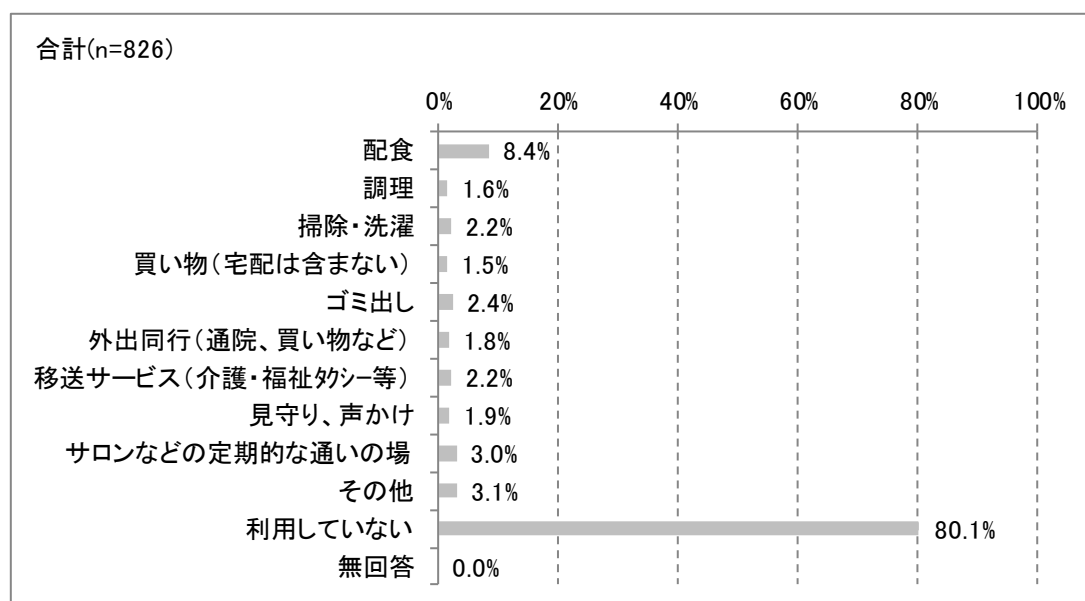
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が84.9%で最も多く、次いで「わからない」が6.4%、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.2%などとなっています。

(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

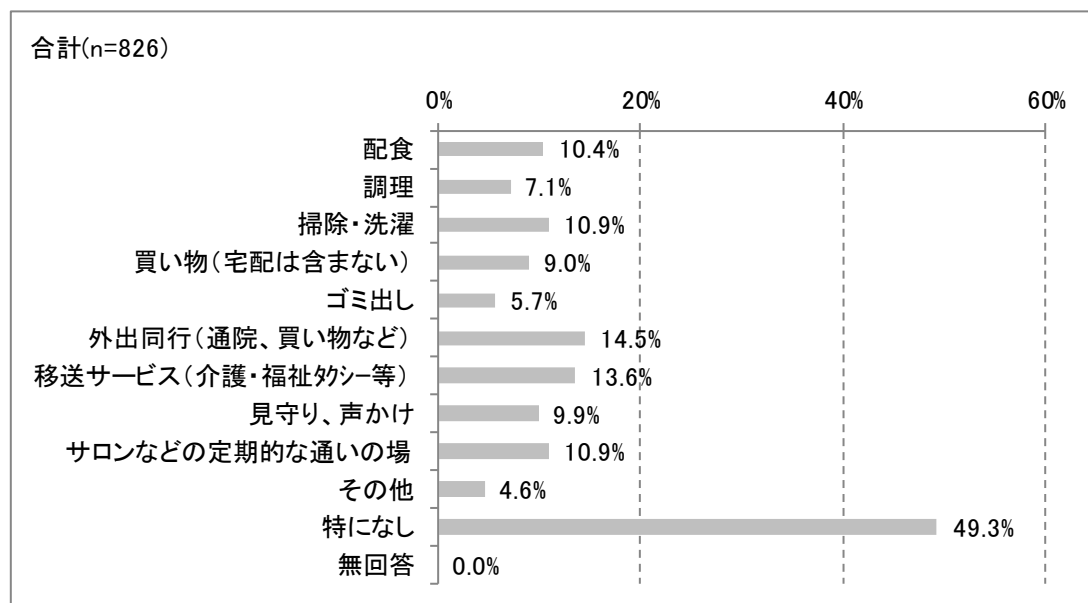
図表 1-8 保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



「利用していない」が80.1%で最も多く、次いで「配食」が8.4%などとなっています。

(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

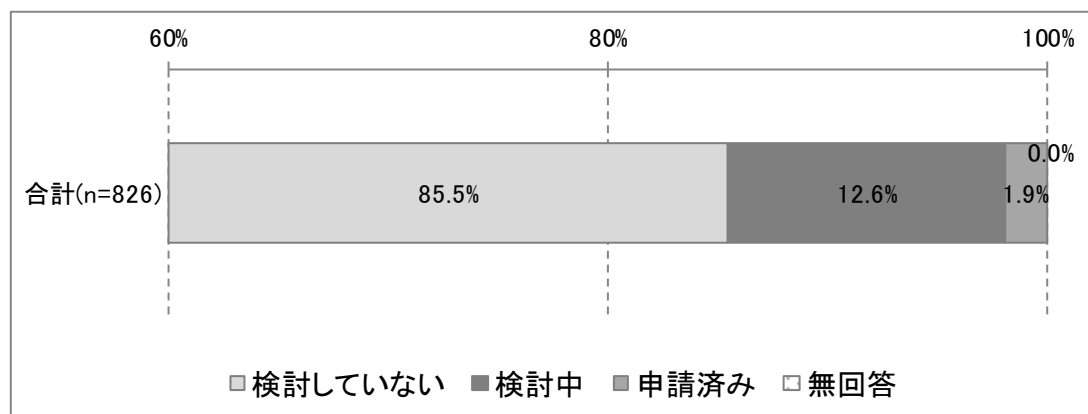
図表 1-9 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



「特になし」が49.3%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が14.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」などとなっています。

(10) 施設等検討の状況

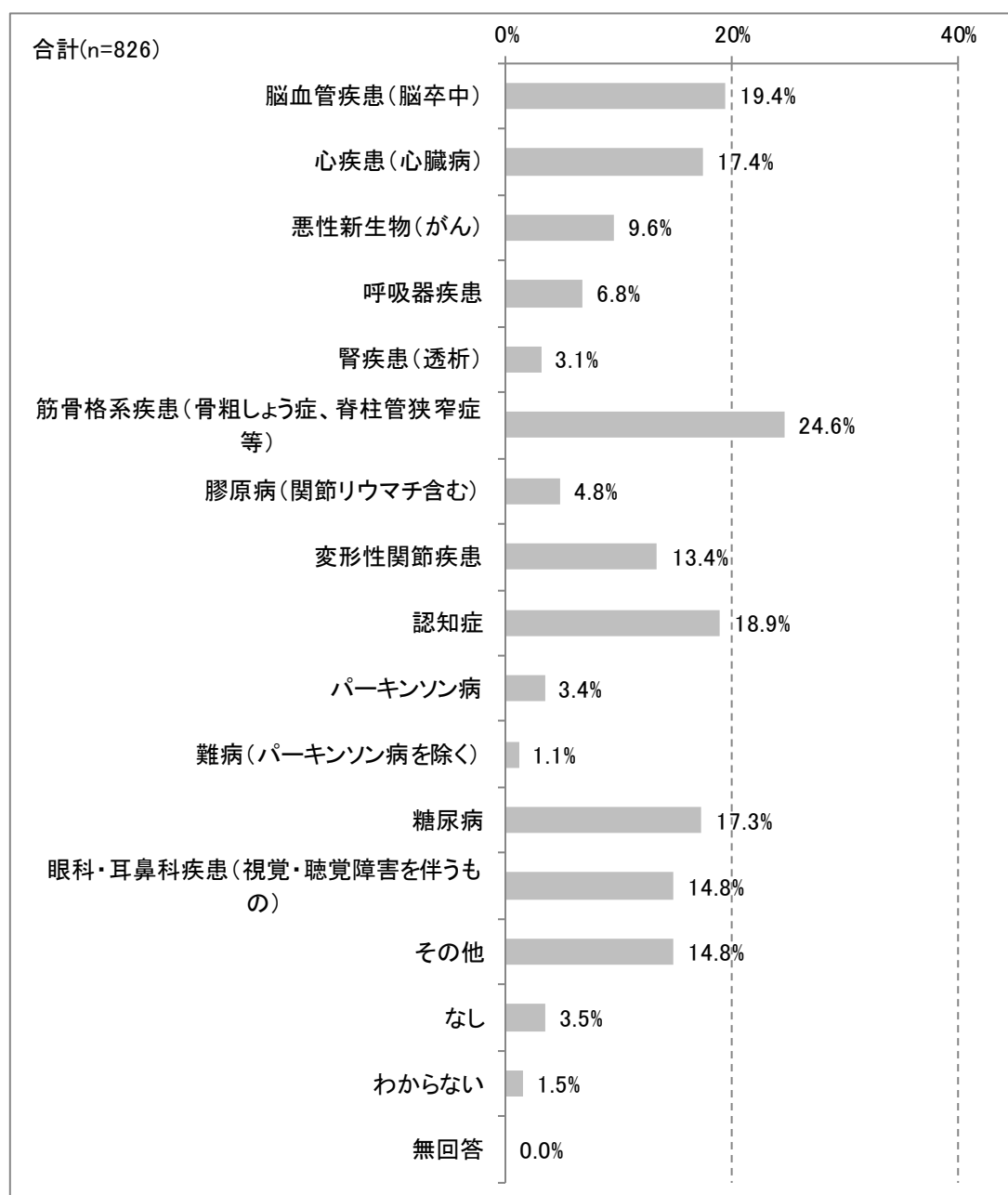
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



「検討していない」が85.5%で最も多く、次いで「検討中」が12.6%、「申請済み」が1.9%となっています。

(11) 本人が抱えている傷病

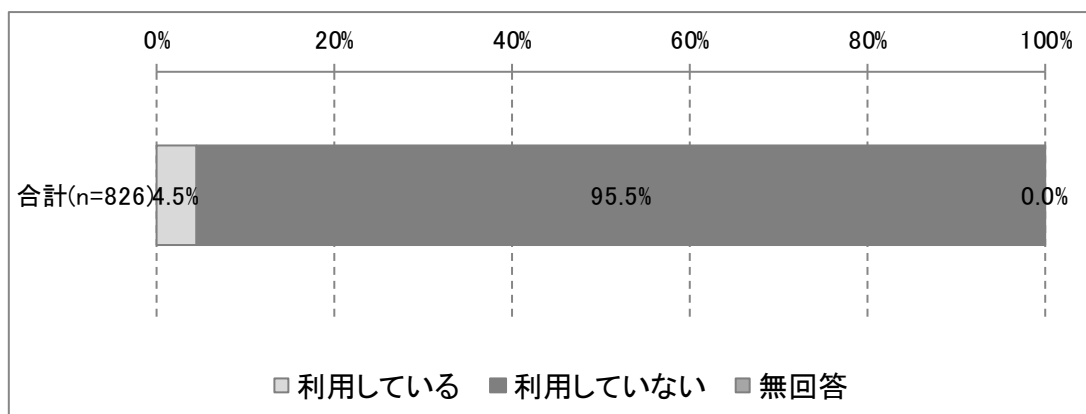
図表 1-11 本人が抱えている傷病（複数回答）



「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 24.6%で最も多く、次いで「脳血管疾患（脳卒中）」が 19.4%、「認知症」が 18.9%などとなっています。

(12) 訪問診療の利用の有無

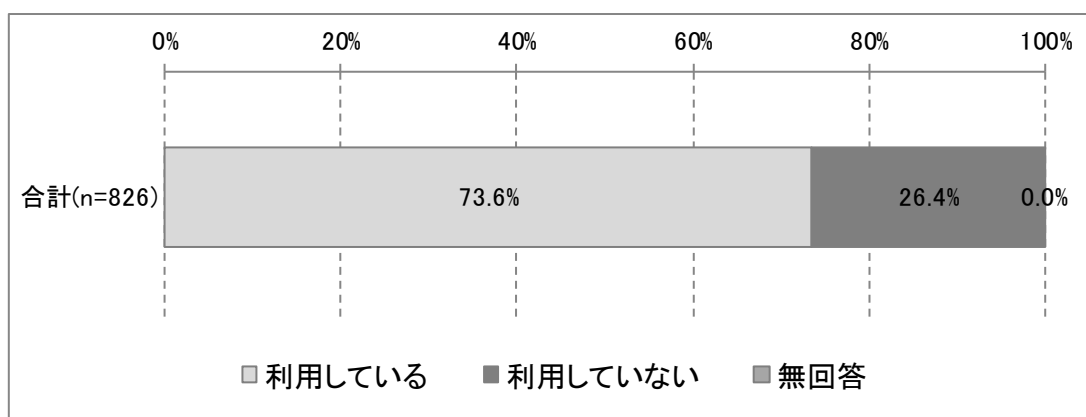
図表 1-12 訪問診療の利用の有無（単数回答）



「利用していない」が95.5%で最も多くなっています。

(13) 介護保険サービスの利用の有無

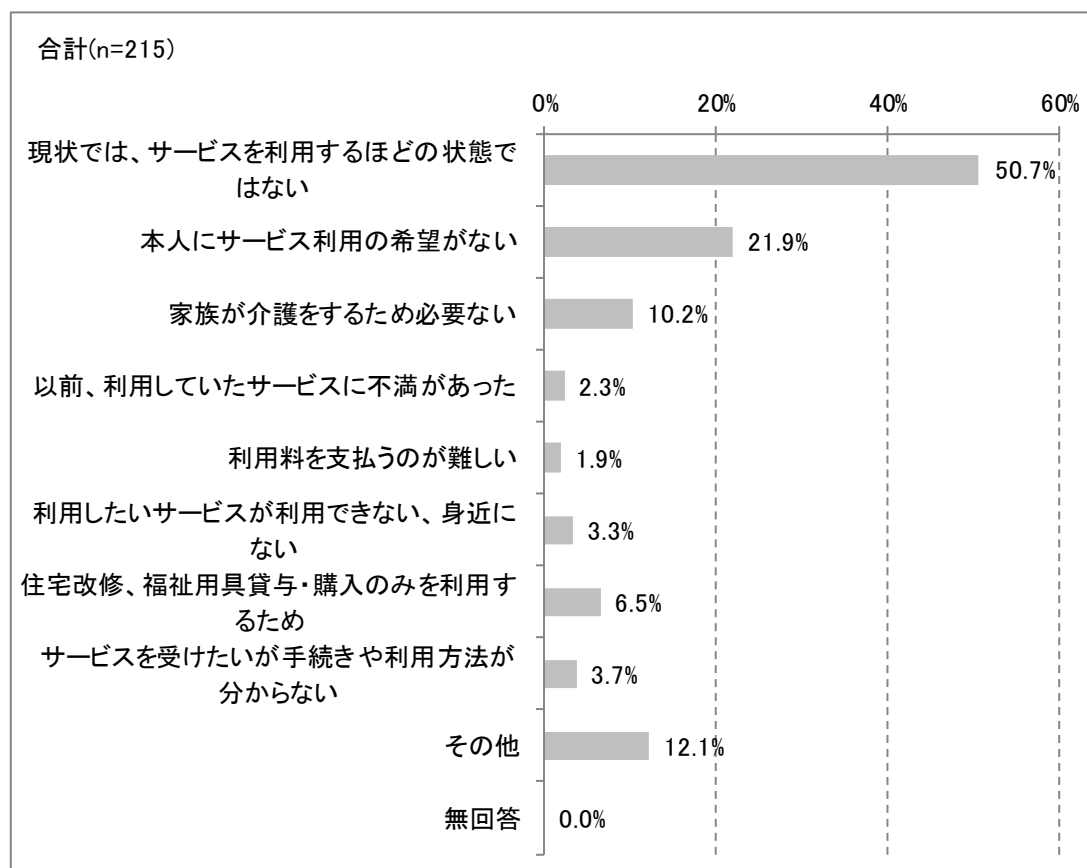
図表 1-13 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



「利用している」が73.6%で最も多くなっています。

(14) 介護保険サービス未利用の理由

図表 1-14 介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

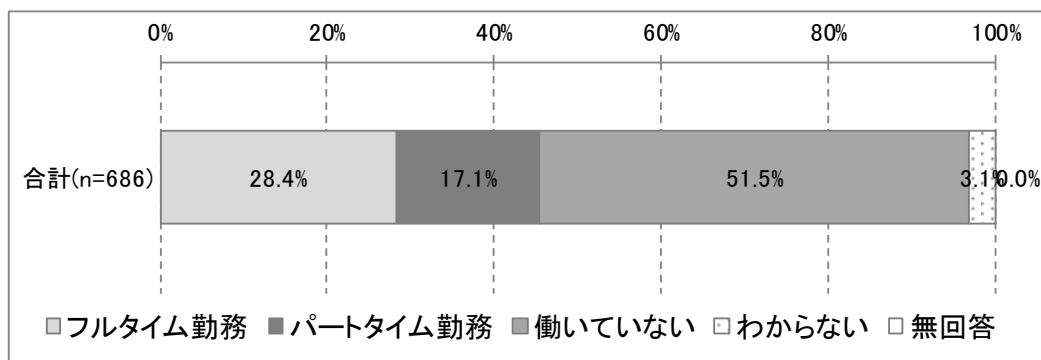


「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.9%などとなっています。

2 主な介護者用の調査項目

(1) 主な介護者の勤務形態

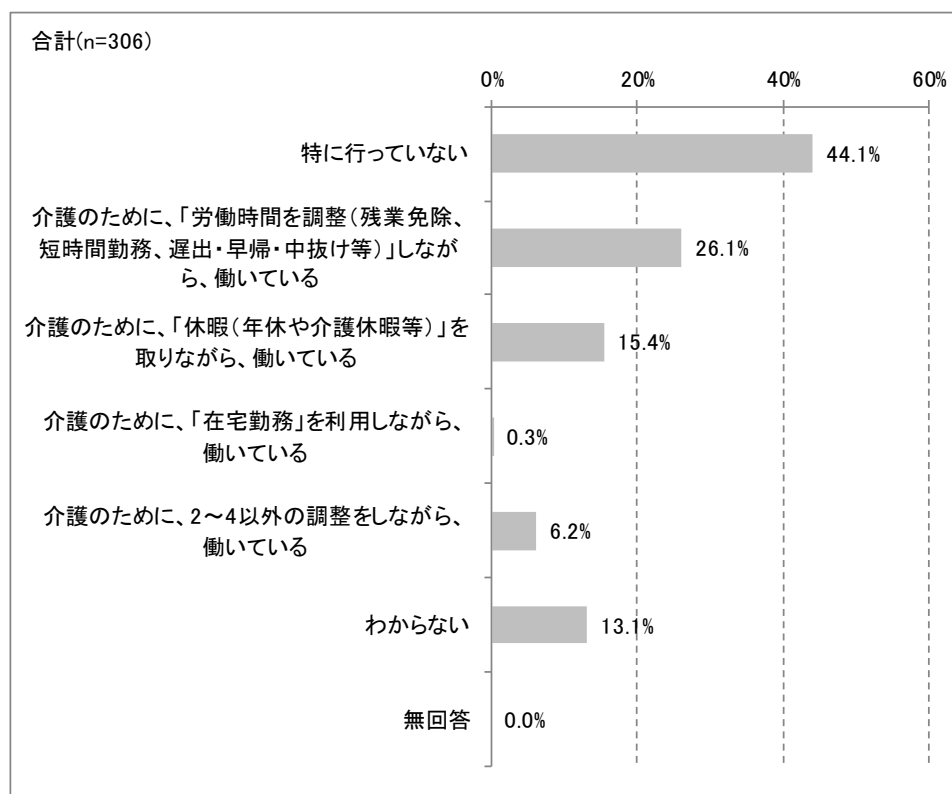
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



「働いていない」が51.5%で最も多く、次いで「フルタイム勤務」が28.4%、「パートタイム勤務」が17.1%などとなっています。

(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

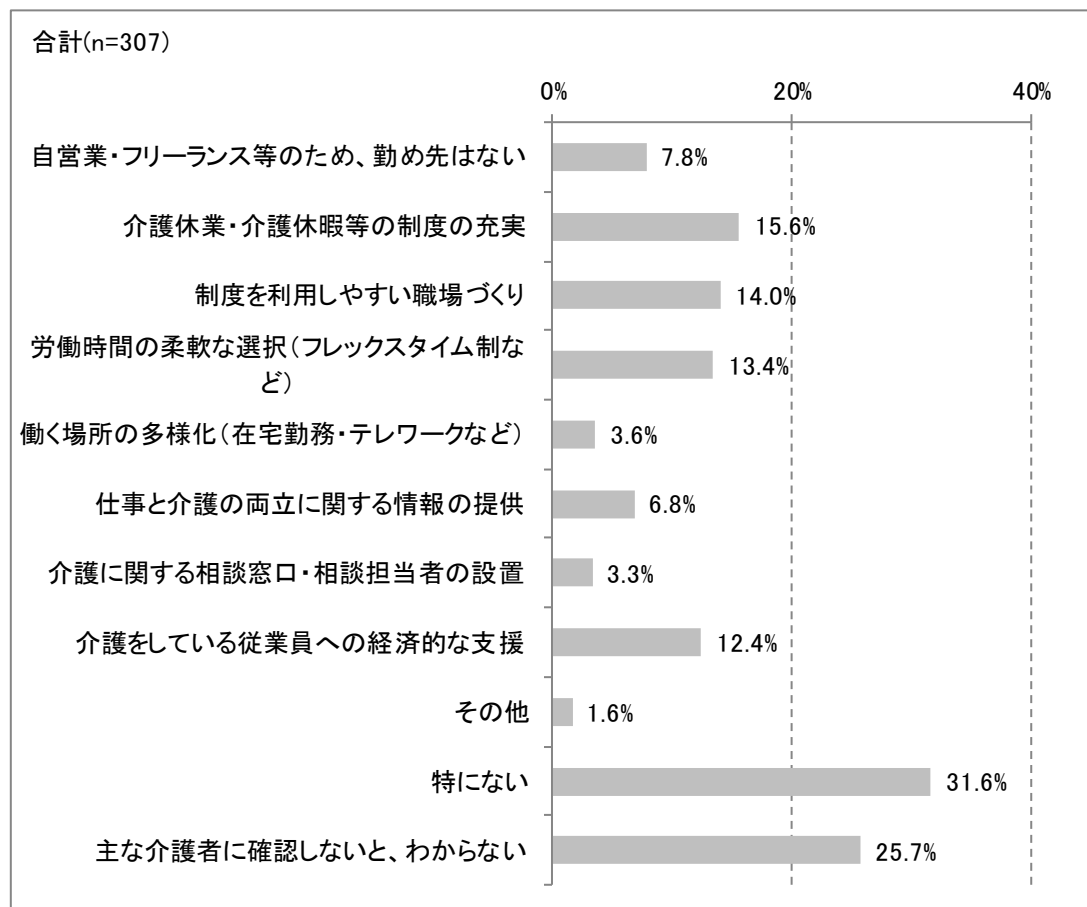
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



「特に行っていない」が44.1%で最も多く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」などとなっています。

(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

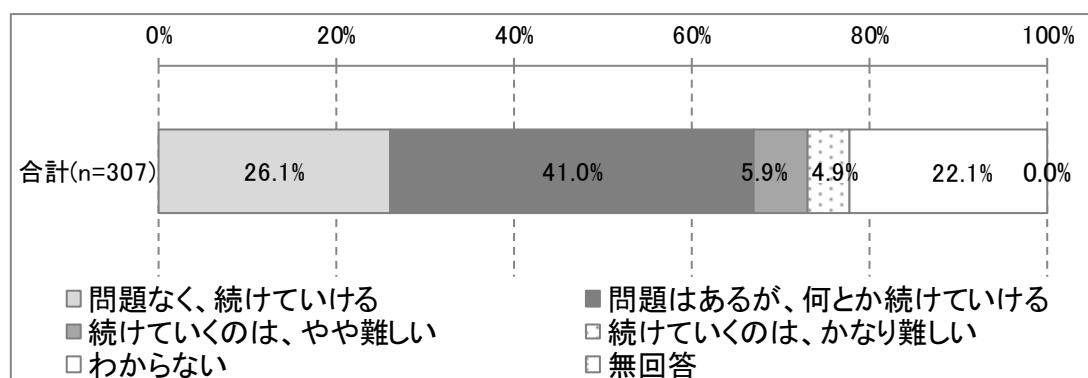
図表 2-3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



「特にない」が31.6%で最も多く、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が25.7%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が15.6%などとなっています。

(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

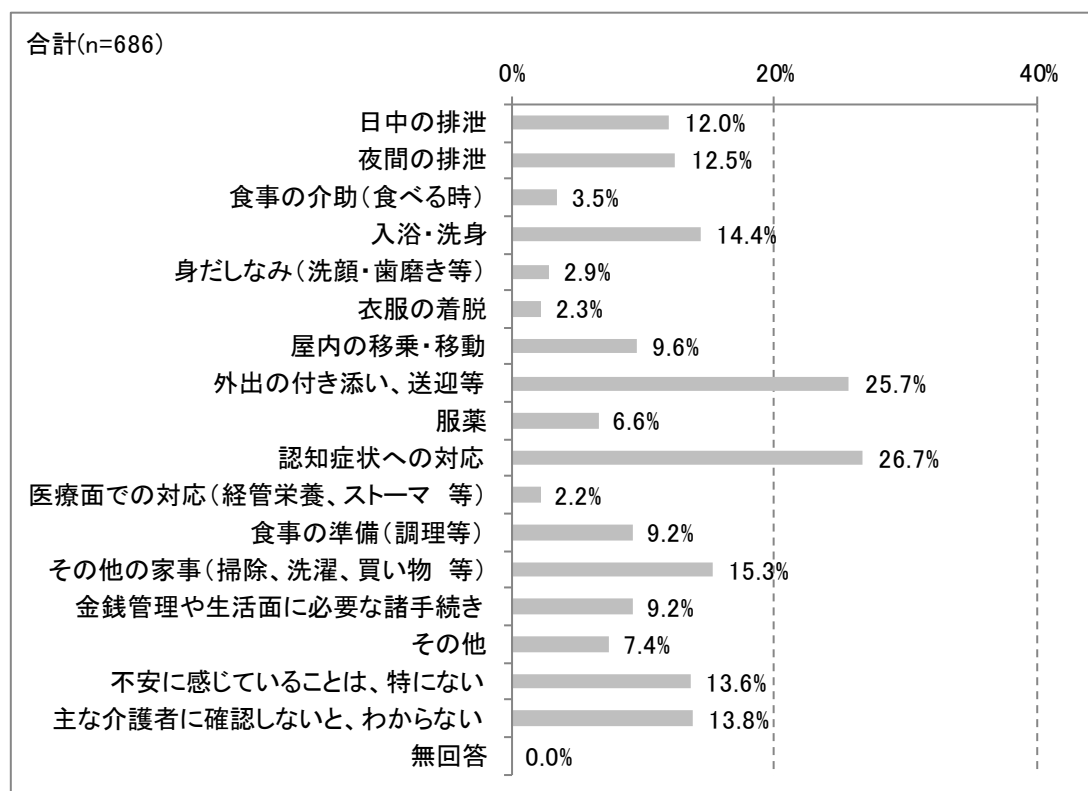
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



「問題はあるが、何とか続けていける」が41.0%で最も多く、「問題なく、続けていける」が26.1%、「続けていくのは、やや難しい」が5.9%などとなっています。

(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

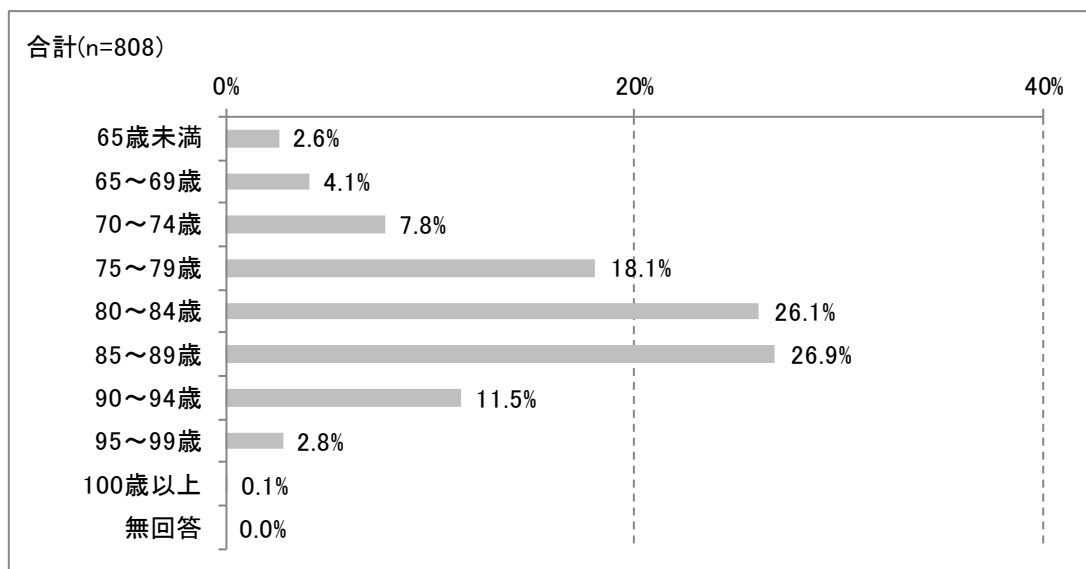


「認知症状への対応」が26.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.7%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が15.3%などとなっています。

3 要介護認定データ

(1) 年齢

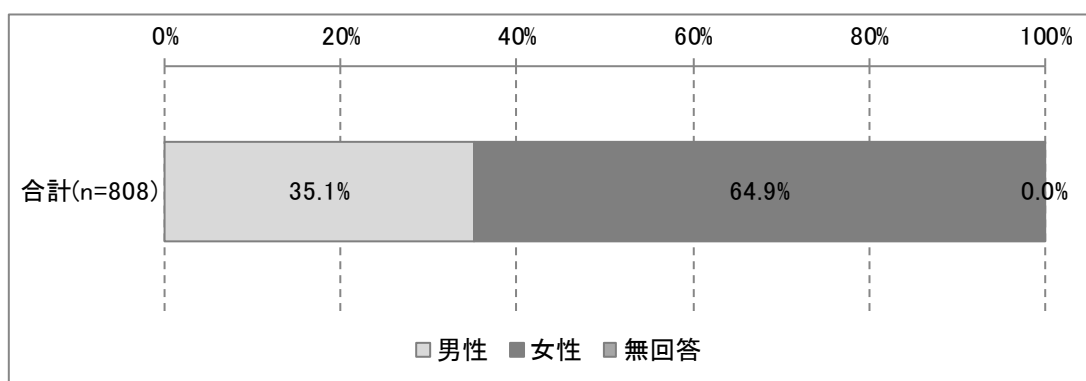
図表 3-1 年齢



「85～89歳」が26.9%で最も多く、次いで「80～84歳」が26.1%、「75～79歳」が18.1%などとなっています。

(2) 性別

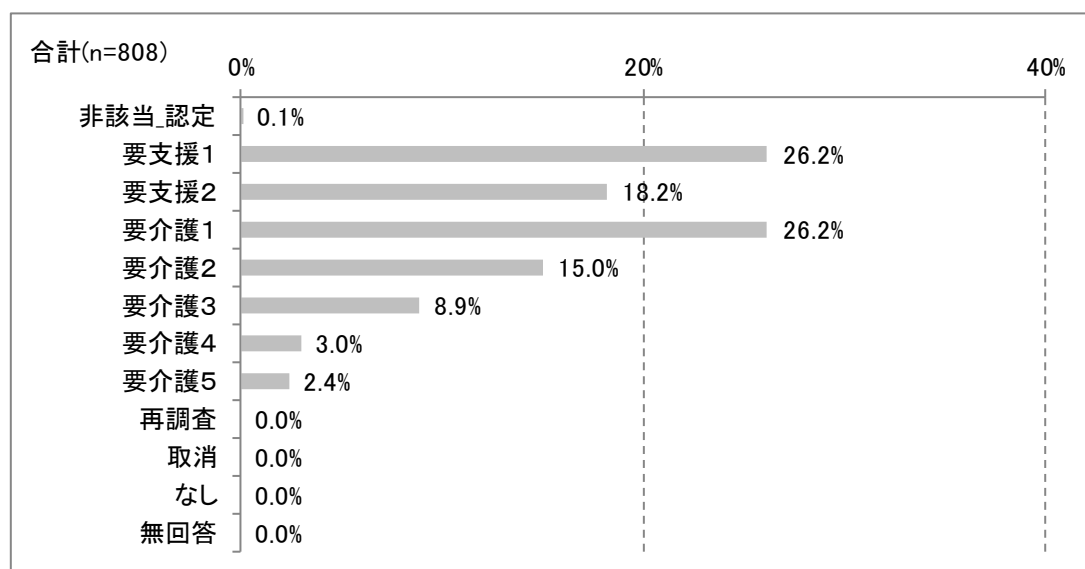
図表 3-2 性別



「女性」が64.9%で多くなっています。

(3) 二次判定結果（要介護度）

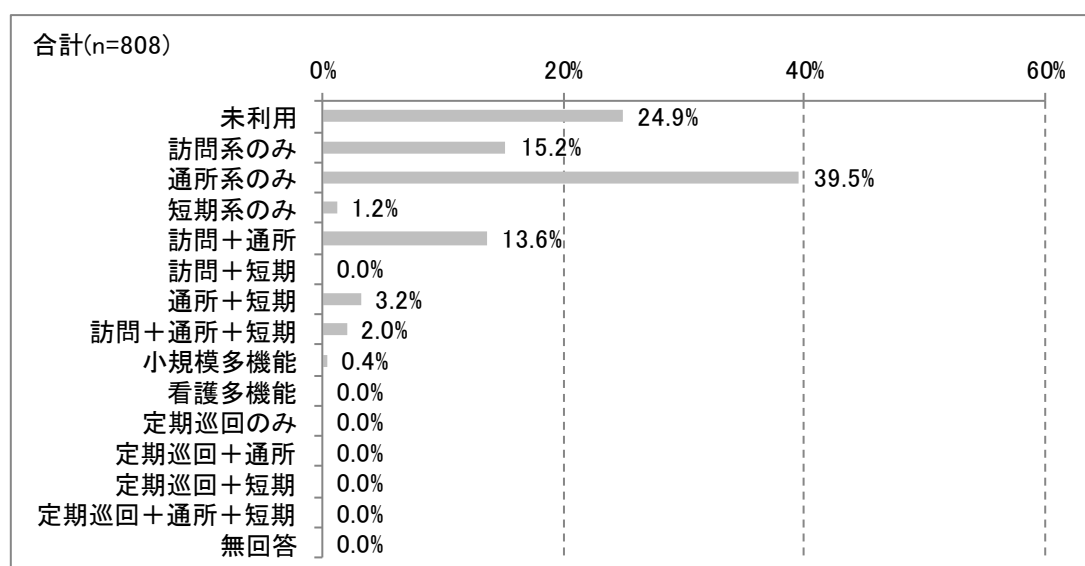
図表 3-3 二次判定結果



「要支援1」、「要介護1」が26.2%で最も多く、次いで「要支援2」が18.2%、「要介護2」が15.0%などとなっています。

(4) サービス利用の組み合わせ

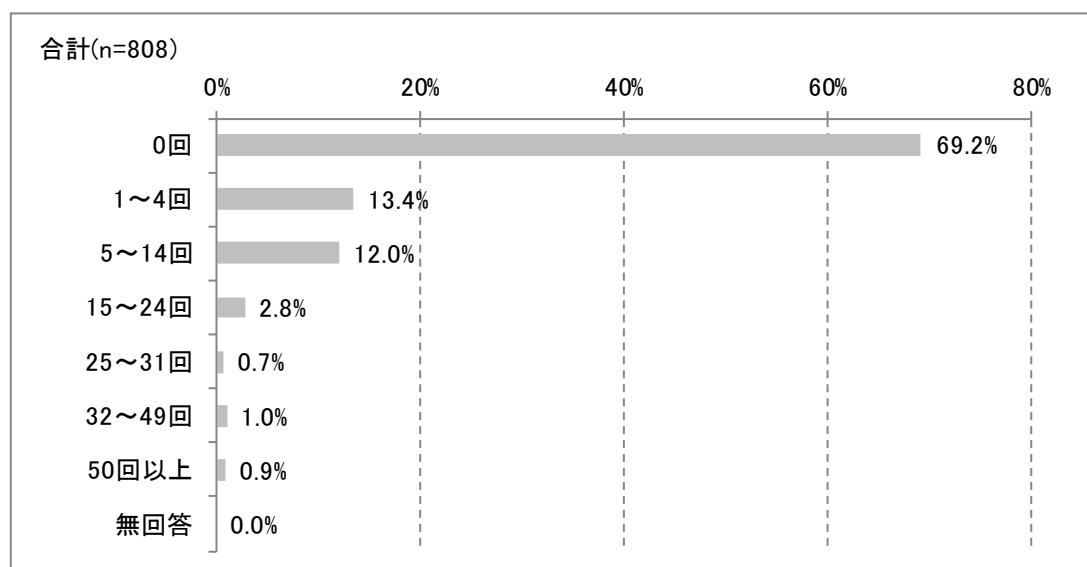
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



「通所系のみ」が39.5%で最も多く、次いで「未利用」が24.9%、「訪問系のみ」が15.2%などとなっています。

(5) 訪問系サービスの合計利用回数

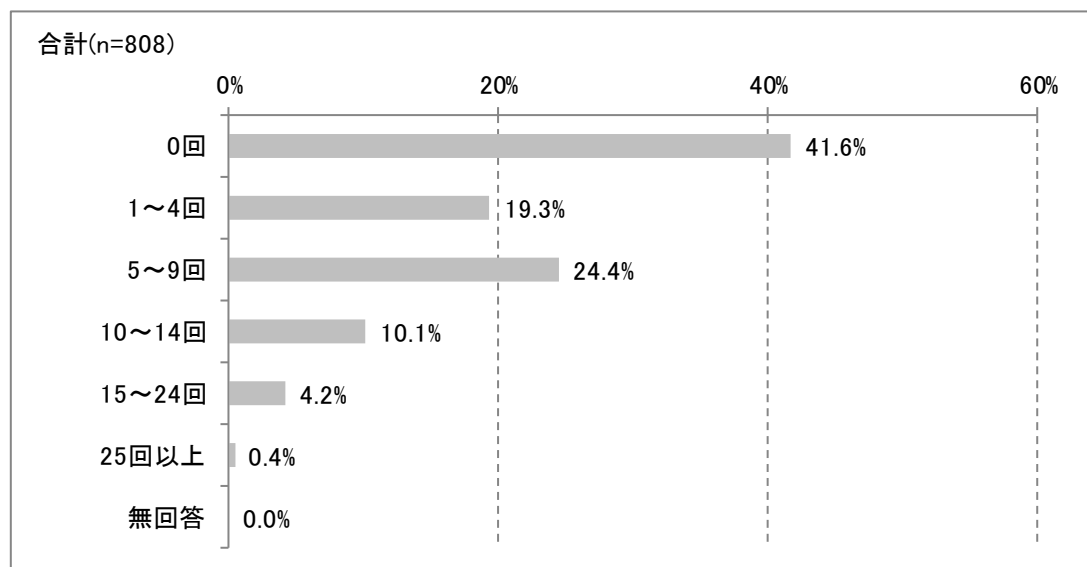
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



「0回」が69.2%で最も多く、次いで「1~4回」が13.4%、「5~14回」が12.0%などとなっています。

(6) 通所系サービスの合計利用回数

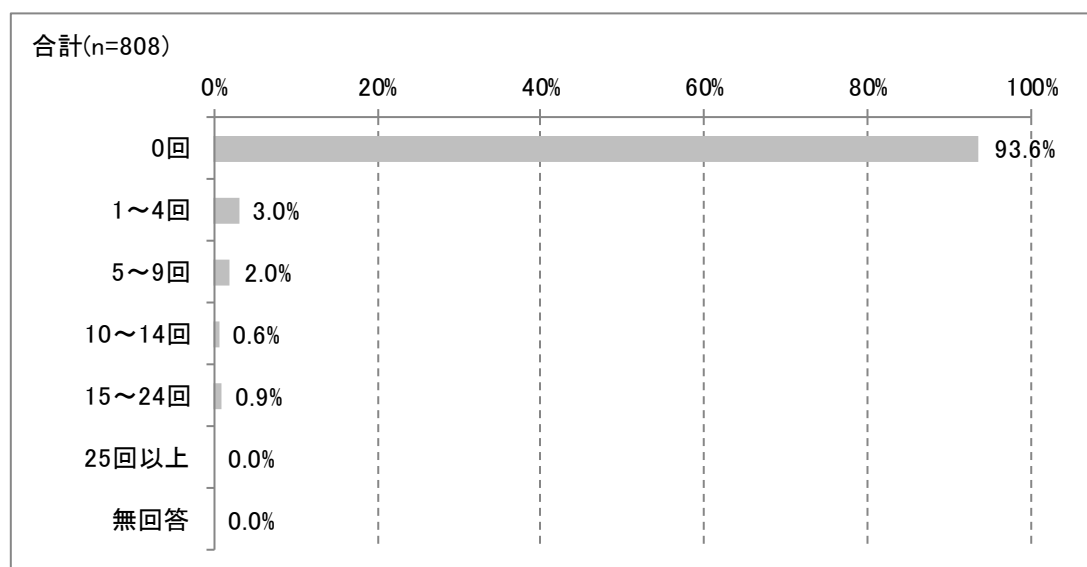
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



「0回」が41.6%で最も多く、次いで「5回~9回」が24.4%、「1~4回」が19.3%などとなっています。

(7) 短期系サービスの合計利用回数

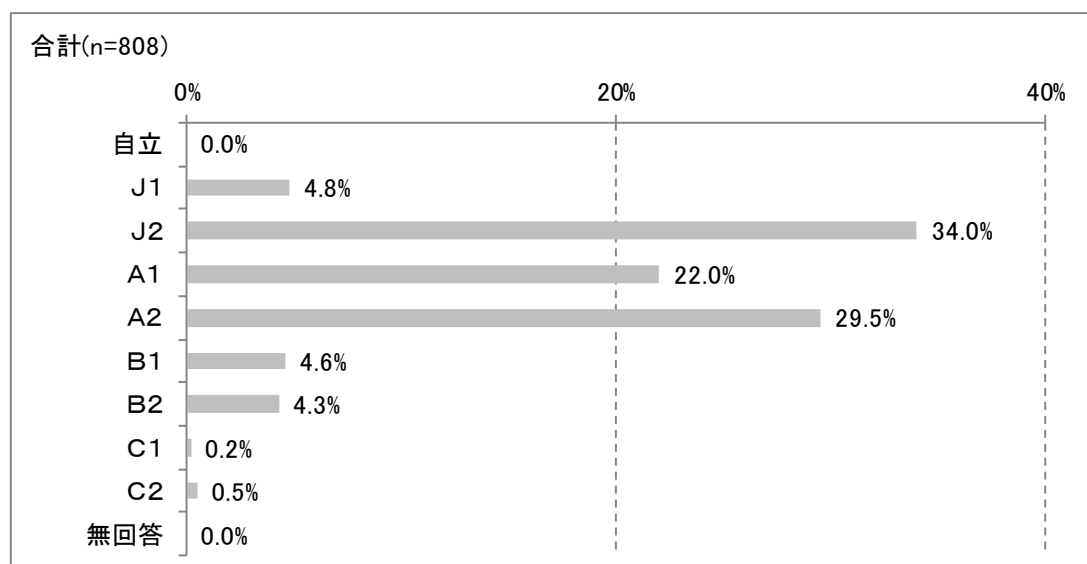
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



「0回」が93.6%で最も多く、次いで「1～4回」が3.0%、「5～9回」が2.0%などとなっています。

(8) 障害高齢者の日常生活自立度

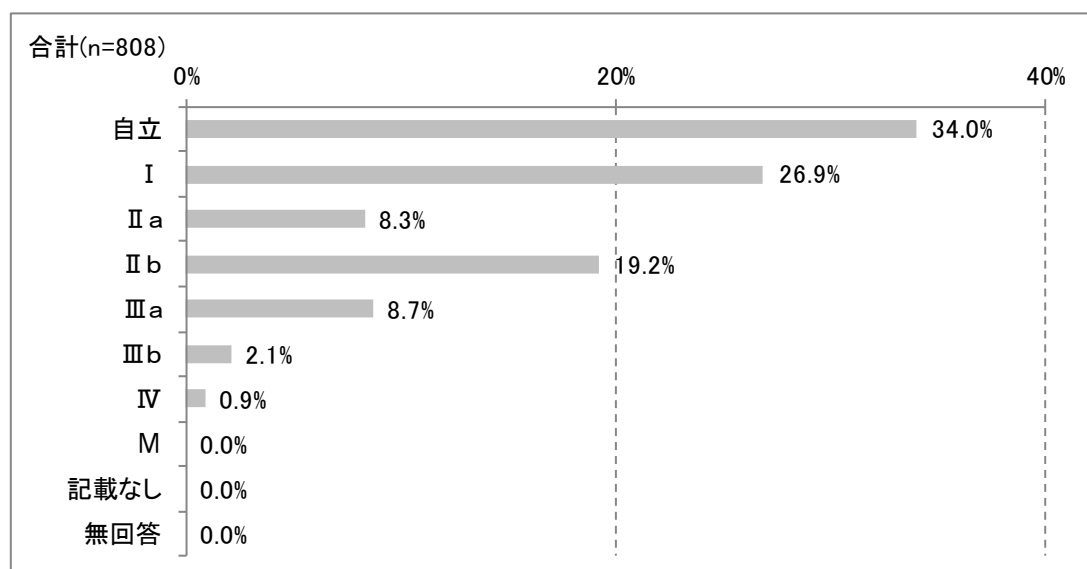
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



「J2」が34.0%で最も多く、次いで「A2」が29.5%、「A1」が22.0%などとなっています。

(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



「自立」が 34.0%で最も多く、次いで「I」が 26.9%、「II b」が 19.2%などとなっています。